

毎月第3水曜日の夜7時、浪切ホールで“mini 和歌山大学”を開講しています。

<第32回> 平成23年5月18日(水) 午後7時～8時半

信長・秀吉vs紀州惣国一揆

—仮面の忍者赤影から戦国ヤタガラス雑賀衆へ—

話題提供者 海津 一朗 (和歌山大学教育学部教授)



中世の紀州は「惣国」「国一揆」と呼ばれる武装独立の地域自治が行われており、織田信長・豊臣秀吉の統一権力に最後まで抵抗した。16世紀のヨーロッパ人の作った世界地図には、紀州は「盗賊島(国)」とかかれている。知られざる中世惣国の実像について、指導者鈴木孫一(雑賀孫一)と「雑賀踊り」に焦点をあてて考えたい。

『仮面の忍者赤影』で怪しげな忍者集団として描かれた紀州惣国衆は、『戦国ヤタガラス』ではイエズス会のアジア侵略の野望に立ち向かう英雄となっている。その実像とはいかなるものか。そして天正13年、紀州惣国はついに泉南地方の民衆を下郡一揆(和泉惣国)として組織して秀吉と全面戦争に及んだ。果たしてその運命は如何に。アジアの「盗賊島」の消長をダイナミックに語る。

- 会場：岸和田市立浪切ホール4F研修室1
- 参加費：無料
- 申し込み：不要 (テーマに関心のある方なら、どなたでも参加いただけます。)

<次回 第33回 6月15日(水)は・・・>

「いまなぜ『協働』か —市民と自治体の新たな関係を考える—」

話題提供者：山田 良治(観光学部長・地域再生学科教授)

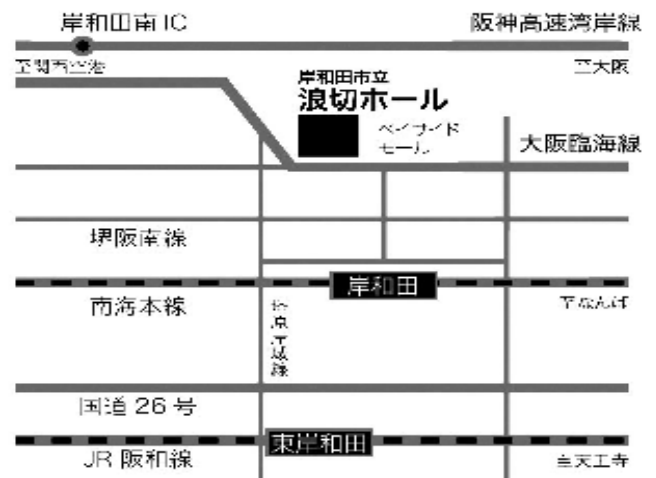
いま、全国の多くの自治体が市民との「協働」のあり方を懸命に模索しています。こうした背景としてしばしば、「住民ニーズの多様化」や「財政危機」が指摘されています。しかし、事態の背後にはもっと奥の深い歴史的な変化があるようです。人類史とまではいなくても、私たちが暮らす資本主義社会の200年以上に及ぶ歴史を改めて振り返りながら、現代に生きることの意味とそこでの「協働」の意義・課題を考えてみたいと思います。

わだいな浪切サロンは

- 毎月第3水曜日の夜7時、岸和田市立浪切ホールで 開講する“mini 和歌山大学”です。
和歌山大学の教員が、地域のみなさんに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。
- 幅広い年代の参加者から、学びと交流の場として親しまれています。(年間のべ約300名が参加)
- 申し込み不要、参加費は無料、テーマに関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。
- 終了後は自由参加の懇親会もあります。

平成23年度 今後の開催予定

7/20	テーマ: 建築・景観 川角典弘(システム工学部)
9/21	テーマ: 身近な統計 松田忠之(経済学部)
10/19	テーマ: キャリアデザイン 本庄麻美子(経済学部)
11/16	テーマ: 笑いと教育 松浦善満(教育学部)
12/21	テーマ: 宇宙 富田晃彦(教育学部)
1/18	テーマ: 特別支援教育 小野次朗(教育学部)
3/21	テーマ: 農業政策 大西敏夫(経済学部)



※内容は変更する場合があります。

和歌山大学 岸和田サテライトは

- 岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、平成18年4月に開設されました。
- 立地、アクセスに恵まれた岸和田市立浪切ホールがキャンパスです。
- 和歌山大学が有する高等教育機能を活用して、社会人のスキルアップや地域発展のニーズに即した大学院科目・学部科目を開講しています。(これまでに47科目を開講、のべ600名が受講)
- 地域研究の推進や自治体・企業等と連携した地域活性化に資する事業、大学情報の発信等をおこなっています。

問い合わせ先

- 和歌山大学地域創造支援機構 岸和田サテライトオフィス
〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立浪切ホール2F
- TEL & FAX: 072-433-0875
- E-mail: kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp
- ホームページ <http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>